

報告事項 シ

鳥取県スポーツ振興計画案に対するパブリックコメントの実施について

鳥取県スポーツ振興計画案に対するパブリックコメントの実施について、別紙のとおり報告します。

平成20年11月14日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

鳥取県スポーツ振興計画案に対するパブリックコメントの実施について

平成20年11月14日
スポーツセンター

少子・高齢化が進む中、県民の方が生涯にわたって健康的な生活を営んでいくために、自主的にスポーツに取り組んでいただける環境を整備する必要があるため、生涯スポーツ社会の構築に向けた「鳥取県スポーツ振興計画案」を作成。
このたび、計画案の内容について、広く県民の方の意見を聞くために、パブリックコメントを実施した。

1 パブリックコメントの概要

- (1) 意見募集期間
平成20年10月14日(火)～平成20年11月7日(金)
- (2) 意見募集方法
県ホームページ及び県民室等での縦覧により計画策定の趣旨・内容等を公表し、広く意見を募集。
- (3) 意見提出方法
郵送、ファクシミリ、電子メール等により鳥取県スポーツセンター宛に送付。
- (4) 実施状況(平成20年10月30日現在)
 - ア 受付件数 6件
 - イ 主な意見
 - ・小学校をはじめとして学校での基礎的な体育活動(陸上や体操など)が不足し、基礎体力が落ちているように感じる。
 - ・高度化が進む中で、生涯スポーツの振興は欠かせない。地域の指導者、組織作りに力を入れるべきである。
 - ・仕事や生活に追われている社会人環境を整備するため、企業等にも働きかけが必要。
 - ・県民(特に子どもたち)に夢や希望を与え、郷土に自信と誇りを持ってもらうために、競技力の向上は欠かせない。

2 計画案の概要

- (1) 基本的な考え方
様々な年代の人々の豊かなスポーツライフの実現と心豊かで活動的な地域スポーツ社会の構築を目指す。
- (2) スポーツ振興の方向性

	学校体育・スポーツ活動の充実	生涯スポーツの充実	競技スポーツの総合的な向上
方向性	生涯にわたってスポーツに親しむ能力や体力・運動能力の向上、健康の保持増進の基礎を培います。	県民の誰もが、いつでも、どこでも、生涯を通じてスポーツを気軽に楽しむことができる生涯スポーツの振興を目指します。	県民に夢や感動を与え、スポーツ活動意欲を喚起させたり、全国や世界で活躍できる競技者の育成を図ります。
主要課題	<p>【子どもたちの体力・運動能力は】</p> <p>昭和60年頃を境に低下傾向が続いています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外遊びや運動時間の減少 ・生活環境の変化 ・生活習慣の乱れ 等... <p>体力向上のための総合的な取組が必要です。</p> <p>体育の授業や体育的行事の一層の充実 運動部活動などの活性化</p>	<p>【普段運動を意識していますか】</p> <p>成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率を調査しています。</p> <p>平成16年度・調査結果</p> <p>本県 44.3%</p> <p>全国 38.5%</p> <p>運動・スポーツ実施率を50%以上に引き上げ、定着させる必要があります。</p>	<p>【競技者の育成強化は】</p> <p>本県の競技スポーツの推進には、選手の育成と強化が課題です。ところが、鳥取県は人口が最も少ない。少子高齢化が進む。</p> <p>ピラミッド型でない円筒型に近い選手強化策が必要です。</p> <p>国民体育大会の総合成績</p> <p>平成20年度：46位</p> <p>平成19年度：43位</p>

3 策定に向けてのスケジュール

時 期	概 要
20年10月	・パブリックコメントを実施（～11/7）
11月	・パブリックコメントの意見を踏まえて、振興計画案を修正の上、教育審議会生涯学習分科会に再提出（11月下旬～12月上旬） ・パブリックコメントの結果を議会（常任委員会）へ報告
21年1月	・今までの議論を踏まえて、振興計画案を修正の上、定例教育委員会へ提出
2月	・教育審議会生涯学習分科会へ最終振興計画案を提出
3月	・定例教育委員会で振興計画を最終決定